

ゆめ まち びと
住友理工 夢・街・人づくり助成金

助成金交付申請書

住友理工 夢・街・人づくり助成金審査委員会 御中

申請日： 平成 27 年 7 月 〇〇日

1. 申請団体について

<基本情報>

団 体 名	(ふりがな) 〇〇〇〇のかい		
	〇〇〇〇の会		
代表者氏名	役職名	(ふりがな) とうかい たろう	
	代表	東海 太郎 印	
団体所在地	〒485-0041 小牧市小牧〇-〇〇		
団体連絡先	TEL (0568) 〇〇-〇〇〇〇	FAX (0568) 〇〇-〇〇〇〇	
	E-mail komaki-XX△△@〇〇〇.ne.jp		
ホームページ	http:// komaki-XX△△.jp		
担当者連絡先 (代表者と同一の場合は記載不要)	役職名	(ふりがな)	
	TEL (連絡の取りやすい番号)		
	E-mail		
設立年月日 (または、活動開始時期)	平成 20 年 4 月 1 日	構成人数	20 人
団体の活動目的 (団体の設立目的・活動目的)	この団体は、地域に古くから伝わる食文化の伝承や地元の食材を使った料理教室などを通じて、食生活の質の向上や「食」に関する知識の向上を図ることを目的とする。		
主な活動場所	〇〇会館		
主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の食材を使った料理教室の開催 ・ 地域の郷土料理を紹介する講座の開催 ・ 市民講座への講師派遣 		

2. 申請事業について

(1) 申請区分

助成金の区分 (申請する部門にチェック)	<input type="checkbox"/> 夢づくりスタート部門 (50,000 円) <input checked="" type="checkbox"/> 街・人づくり部門 (100,000 円)
該当する分野 (該当するものにチェック※複数可)	<input type="checkbox"/> 障がい者福祉に関する事業 <input type="checkbox"/> 文化・芸術の振興を図る事業 <input checked="" type="checkbox"/> 青少年の健全育成を図る事業 <input type="checkbox"/> 安心・安全な社会づくりに関する事業 <input checked="" type="checkbox"/> 環境との共生を図る事業

(2) 実施したい事業について記入してください。

申請事業名	食育体験講座「000ファーム」 事業
事業実施期間	平成 27年00月00日～平成 28年0月00日まで
1) どのような事業を行いますか？(事業概要)	
休耕地を利用し、小学生親子を対象とした農作物の植え付けから収穫までの体験会と「食」に関するお話し会を行います。	
2) なぜ、この事業を行うのですか？	
①解決したい社会課題 ②目的 ③社会ニーズ ・いつでも欲しいときに食べ物が手に入り、好きなだけ食べることができる昨今、子どもたちの「食」に対する感謝の気持ちや「食」の知識が低下してきており、欠食や孤食、偏食などの問題が目立つようになってきていると言われています。こうした食の乱れは、子どもたちの健全な発育の阻害や学習意欲の低下につながることに懸念されています。また、地域のつながりの希薄化が進んでおり、地域社会での孤立など、生活上での不安や困難を抱える人が増えています。 ・体験講座を通して、子どもたちに「食」への関心を高めてもらい、「食」に対する感謝のこころを育むことを目的とします。また、地域の方に協力していただき、一緒に作業をすることで、地域のつながりを深めることを目指します。	

3) 具体的に、何をどのように行いますか？（設定・手法）	
<p>①いつ ②どこで ③何を何回 ④誰に（対象者）</p> <p>①〇月～〇月</p> <p>②〇〇さん所有の休耕地、〇〇会館学習室、調理室</p> <p>③・苗植え体験講座：講師指導の下、種まきや苗植えの体験を行う 1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育成状況の見学会：作物が育つ過程を学ぶための見学会及び作業 2～3回程度 ・「食」に関するお話し会：食べ物の大切さ、自然の大切さに関するお話し会 1回 ・収穫祭：収穫体験、収穫した作物の調理及び試食 1回 <p>④・小学生親子20組程度を予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お手伝いしていただける方（5名程度）も一般募集 	
4) どのような体制で事業を行いますか？（役割分担・協力先など）	
<p>会の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の募集、連絡などの事務作業。 ・体験講座や収穫祭などの運営。 ・お手伝いスタッフへの指導。 <p>協力先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に住む、農業に詳しい高齢者などに講師として協力を依頼する。 ・お手伝いしていただける方（5名程度）を一般募集する。 ・農作物を栽培する土地は、休耕地を地主の好意により無償で使用させていただく。 	
5) どのようなスケジュールで行いますか？	
①準備期間	<p>〇月上旬 事業内容の詳細を決定・講師や会場の手配</p> <p>〇月下旬 チラシなどによる参加者とお手伝いスタッフの募集</p>
②中間報告時期	〇月 中間報告書の提出
③実施時期	<p>〇月〇日（予定） 苗植え体験講座</p> <p>〇月 育成状況の見学会</p> <p>〇月 「食」に関するお話し会</p> <p>〇月〇日（予定） 収穫祭</p>
④検証期間	〇月 事業の振り返り
⑤実績報告時期	〇月 事業報告書の作成提出

6) その事業を行う事により、どのような効果が期待できますか？

①誰に、どのような効果をもたらす ②どのように変わるのか

- ①・子どもたちに作物を育てることの面白さや収穫する事の喜びを体感してもらうことができます。
 - ・地域の方と一緒に作業をすることで、地域とのつながりが深まります。
- ②・子どもたちが作物を育てる大変さを学ぶことができ、食物のありがたさを再認識し、「食」への関心を高めることができます。
 - ・お互いが支え合い、誰もが安心して暮らせる地域社会を実現するきっかけとなります。

7) 申請事業終了後、どのように発展させていきたいですか？

<①社会全体に対して>

助成終了後も引き続き体験講座を開催し、市内の他地区へも広げる活動を行います。また、「食」に関する知識について、子どもたちだけでなく、親自身も知らないことが多いため、親世代に向けた講座も開催していきたいと考えています。

<②団体運営に対して>

事業の継続を目指すため、子どもたちと育てた農作物を子どもたちと共に販売し、売り上げを運営費に充当できるような仕組みづくりを進めていきます。また、食育の大切さや将来を担う次世代を育成することの必要性をアピールし、地元企業などに協賛を呼び掛けます。

8) この事業にかける熱意や自団体ならではのアピールをお書きください。

- ・食育は生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置づけられており、そのためには健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進する必要があります。この食育を推進するには、小さなことから実践していくことが重要です。今回の体験講座を通して、少しずつでも子どもたちに「食」への関心を高めてもらうことを目指してまいります。
- ・この会の会員は、ほとんどが〇〇地区の住民で構成されており、地元の食材や伝統的な郷土料理に詳しい団体なので、地域に根ざした事業を展開することが可能です。また、今までの事業で連携してきた、子ども会や老人会、児童館などとのネットワークを活かし、たくさんの方に関わっていただくことができます。

(3) 申請事業における収支計画書

収入の部

(単価：円)

項目	金額	摘要
①夢・街・人づくり助成金	100,000	助成金
②自己資金	42,500	団体会費より
③その他の資金	10,000	参加費@500×20名 (保険料・材料費等)
合計 (A)	152,500	

支出の部

(単価：円)

項目	金額	摘要	
助成対象経費	人件費	30,000	スタッフ人件費@3,000×10名
	謝金	15,000	講師への謝礼@3,000×5回
	交通費	22,500	講師交通費@2,000×5回=10,000 お手伝いスタッフ交通費@500×5名×5回=12,500
	通信運搬費	6,000	チラシ等送付用切手代@120×50カ所
	印刷製本費	30,000	チラシ等作成費 (紙代・印刷代)
	消耗品費	20,000	種、苗、肥料、調理体験に使用するもの
	使用料	15,000	会場使用料 (お話し会会場・調理室など)
	保険料	4,000	参加者@100×30名 スタッフ@100×10名
	計 (B)	142,500	
助成対象外経費	食糧費	5,000	会議時お茶代
	物品購入費	5,000	図書購入費
	計 (C)	10,000	
合計 (B+C=A)	152,500		

3. 提出書類について

※必ず口にチェックを入れること。

- 1) 助成金交付申請書
- 2) 団体の会員名簿（任意様式）
- 3) 団体の規約、会則等（任意様式）